

平成 29 年 10 月 31 日

報道関係各位

学校法人 雲雀丘学園

取材会のご案内

**ロボットプログラミング専用教室「Hibari Robot Programming Base (HiRoBa)」を学園内に開設
～ プレイベント「プログラミング体験教室」取材会 ～**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

学校法人雲雀丘学園（兵庫県宝塚市、理事長 鳥井信吾）は、株式会社ミマモルメ（大阪市福島区、社長 溝渕貴）の協力を得て、平成 30 年 4 月から放課後課外教室としてプログラミング専用教室「Hibari Robot Programming Base (HiRoBa)」を開設します。これは平成 32 年の小学校学習指導要領改訂でプログラミング教育が必修化されることに伴い、これを先取りした形で学園全体として取り組むものです。常設された専用教室で毎日プログラミングの授業を受けられるという試みは全国的にも極めて珍しい取り組みです。

本格実施に先立ち、平成 29 年 10 月からプレイベント「プログラミング体験教室」を幼稚園年長、小学校全学年、中学校 1 年の児童・生徒を対象に実施します。同教室には対象児童・生徒の約 4 割に当たる約 400 人の参加申し込みがありました。

子供たちがペアを組んで、ロボットの制御を考える活動は、次期学習指導要領で強調されている「主体的・対話的で深い学び」（いわゆるアクティブラーニング）につながる活動です。本学園はこのような学習の場を学園内に開設することにより、AI（人工知能）化、ロボット化の進む新しい時代で活躍できる児童・生徒の育成を図っていきたいと考えています。

つきましては、ご多用中とは存じますが、本学園の取り組み、および「プログラミング体験教室」のプレイベントをご取材賜りたく、ご案内申し上げます。なお、プレイベント開催日は 11/4、11/11、12/9、12/15、12/19 を予定しておりますが、取材日は下記の通りとさせていただきます。

どうぞ、ご了承下さい。

記

■日時 平成 29 年 11 月 11 日（土）13：00～14：00（受付開始 12：30）

・13：00～13：15 説明会

・13：30～14：00 授業取材会

■場所 <説明会> 雲雀丘学園小学校 2F 会議室

<授業取材会> 雲雀丘学園文化館 Hibari Robot Programming Base (HiRoBa)

資料配付先 : 宝塚市政記者クラブ、西宮市政記者クラブ

問い合わせ先 : 雲雀丘学園事務局 学園広報 成地 勉 (電話 072-759-3000)

■ご参考

<学校法人雲雀丘学園の概要>

住 所	兵庫県宝塚市雲雀丘 4 丁目 2 番 1 号
創 立	昭和 25 年 (1950 年)
創 立 者	鳥井 信治郎 (サントリー創業者)
理 事 長	鳥井 信吾
設 置 校	雲雀丘学園高等学校、雲雀丘学園中学校、雲雀丘学園小学校、 雲雀丘学園幼稚園、雲雀丘学園中山台幼稚園
生徒児童園児数	2728 名
教 職 員 数	214 名
ホームページ	http://www.hibari.jp/ho/

<株式会社ミマモルメの概要>

本 社	大阪市福島区福島 3 丁目 14 番 24 号
資 本 金	1 億円 (阪神電気鉄道株式会社 100% 出資)
設 立	2017 年 8 月 8 日 (火)
営業開始日	2017 年 10 月 1 日 (日)
代 表 者	代表取締役・社長 溝渕 貴
事 業 内 容	あんしん事業 (ミマモルメ)・教育事業 (プログラボ)
ホームページ	ミマモルメ http://www.hanshin-anshin.jp/ プログラボ http://www.proglab.education/

<ロボットプログラミング教室「プログラボ」の概要>

- ・教育理念 私たちは、ロボットプログラミング教育を通じて、未来を担う子ども達の「夢を実現するチカラ」を育みます。

「夢を実現するチカラ」とは

① 学びに対する喜び・意欲

知識と論理的な思考方法を身につけ、それを実践することで、学ぶ喜びを体感し、意欲的に学ぶ姿勢、問題解決力を養います。

② 視野や興味の幅を広げ、それを深く追求する心

身のまわりのさまざまな物事に興味を持つ好奇心と、興味を持った物事に対して深く掘り下げる探究心を育みます。

③ 自らの力でやり抜く精神

失敗を恐れず、試行錯誤を重ね、主体性と最後までやり抜く力を育てます。

- ・対象者 年長～中学生

- ・内 容 教育版レゴ® マインドストーム® EV3 を用いて、モーターや各種センサーを使ってロボットを組み立て、ビジュアルアイコンを使ったソフトウェアでプログラミングを行います。

<取材会開催趣旨 詳細>

学校法人雲雀丘学園（兵庫県宝塚市，理事長 鳥井信吾）は，株式会社ミマモルメ（大阪市福島区，社長 溝渕貴）の協力を得て，平成 30 年 4 月から放課後課外教室としてプログラミング教室「Hibari Robot Programming Base (HiRoBa)」を開設します。本格実施に先立ち，平成 29 年 10 月からプレイベント「プログラミング体験教室」を，幼稚園年長，小学校全学年，中学校 1 年の児童・生徒を対象に実施します。同教室には対象児童・生徒の約 4 割に当たる約 400 人が参加を申し込み，受講します。

この体験教室では，「教育版レゴ®マインドストーム®EV3」（レゴ エデュケーション）を使用。モーターや各種センサーを組み込んだロボットをつくり，タブレット端末やパソコン上でビジュアルアイコンを使ったプログラミングを行い，ロボットを制御することを体験します。子どもたちは数人のグループに分かれ，アイデアを出し合い，試行錯誤を繰り返しながら，与えられた課題を乗り越えていきます。

平成 32 年度（2020 年度）から小学校の授業にプログラミングが導入されます。また，中学校「技術家庭」，高等学校「情報」の各教科の指導内容の充実も求められます。このような中，本学園では昨年（平成 28 年）12 月に，小学校 4 年生を対象に，株式会社ミマモルメによる出張プログラミング教室を開催しました。対象 140 人のうち 80 人が受講し，関心の高さを感じました。これを受け，本学園では学園内にプログラミング教育のための専用教室「Hibari Robot Programming Base (HiRoBa)」を設置し，放課後に課外活動としてプログラミング授業を行うことにしました。さらに，HiRoBa は放課後開放し，興味のある児童・生徒はいつでも自由にプログラミングに打ち込むことができます。常設された専用教室で毎日プログラミングの授業を受けられるという試みは全国的にも珍しい取り組みです。

子どもたちが数人ずつのグループに分かれ，ロボットの制御を考える活動は，次期学習指導要領で強調されている「主体的・対話的で深い学び」（いわゆるアクティブラーニング）につながる活動であります。本学園はこのような学習の場を学園内に開設することにより，AI（人工知能）化，ロボット化の進む新しい時代で活躍できる児童・生徒の育成を図っていきたいと考えています。

以上

F A X 返信用紙

F A X . 0 7 2 - 7 5 9 - 5 7 2 2

学校法人 雲雀丘学園 学園広報 行

ロボットプログラミング専用教室「Hibari Robot Programming Base (HiRoBa)」
～ プレイベント「プログラミング体験教室」 ～

<取材会>

日時：平成 29 年 11 月 11 日 (土) 13:00～14:00 (受付開始 12:30)

場所：雲雀丘学園小学校 (兵庫県宝塚市雲雀丘 4 丁目 2 番 1 号)

アクセス：電車でお越しの場合は阪急宝塚線 雲雀丘花屋敷駅西口下車 2 分です。

お車でお越しの場合は学園南門からお入りください。

誠にお手数ではございますが、出欠を下欄へご記入の上、11月7日(火)までにファックスにて上記宛ご返信をお願いいたします。

ご出席

ご欠席

貴社名

ご所属

ご芳名

ご連絡先 Tel.

ご連絡先 Fax.

カメラ

有

・

無
